

斉藤恵子 (同 栄養科)、鳥居 明 (慈恵医大消化器内科)、金城福則 (琉球大光学診療部)、  
樋渡信夫 (いわき市立総合磐城共立病院)、守田則一 (原学園臨床医学研究所)

(6) プロジェクト研究 (10:50~11:05)

「エビデンスに基づく炎症性腸疾患の診療ガイドライン開発と診療オプションの策定」

責任者：上野文昭

エビデンスに基づいた潰瘍性大腸炎の診療に関するコンセンサス開発

- 上野文昭 (大船中央病院消化器肝臓病センター)、
- 尾藤誠司 (独立行政法人機構東京医療センター・臨床研究センター)、
- 古宮憲一 (同 消化器科) 小林健二 (東海大消化器内科)、井上 詠 (慶應大内科)

(7) プロジェクト研究 (11:05~11:45)

「疾患関連遺伝子」 責任者：木内喜孝

日本人炎症性腸疾患と IBD5 領域内遺伝子および DLG5 遺伝子

- 木内喜孝、土佐正規、角田洋一、根来健一、高木 承、高橋成一、

下瀬川 徹 (東北大消化器病態学)、樋渡信夫 (いわき市立総合磐城共立病院消化器)  
第6染色体短腕に存在する潰瘍性大腸炎感受性遺伝子座位の絞り込み

- 野村栄樹、木内喜孝、根来健一、角田洋一、土佐正規、阿部浩子、高木 承、相原裕之、  
高橋成一、下瀬川 徹 (東北大消化器病態学)、  
樋渡信夫 (いわき市立総合磐城共立病院消化器)

IBDにおける薬剤トランスポーター遺伝子のSNPs解析

- 後藤 啓、中原生哉、岡原 聡、小林歓和、有村佳昭、今井浩三 (札幌医大1内)、  
本谷 聡 (札幌厚生病院消化器)

炎症性腸疾患におけるATP結合分子多型の相関 (第2報)

- 田村和朗 (兵庫医大先端医学研究所家族性腫瘍部門)、高川哲也、武田直久、福田能啓、  
松本誉之 (同 消化器内科)、池内浩基、山村武平 (同 2外)

昼食・幹事会 (11:45~13:00)

(8) 再生分科会 (13:00~13:20)

粘膜再生治療「基礎面から」 責任者：土肥多恵子

炎症応答と消化管粘膜再生

- 土肥多恵子 (国立国際医療センター研究所)、中島 淳 (横浜市大学3内)、  
小島 至 (群馬大生体調節研究所)

(9) 再生分科会 (13:20~14:10)

粘膜再生治療「臨床面から」 責任者：今井浩三

潰瘍性大腸炎における血清MMP-3の検討

- 岡原 聡、後藤 啓、小林歓和、中原生哉、有村佳昭、今井浩三 (札幌医大1内)、  
本谷 聡 (札幌厚生病院消化器)

実験大腸炎モデルに対する遺伝子組み換え型ヒトHGFの効果とその作用機序の解明

- 安倍弘生、山本章二郎、中西千尋、上村修司、木村友昭、宮田義史、  
宇都浩文 (宮崎大2内)、沼田政嗣、井戸章雄 (京都大付属病院探索医療センター)、  
坪内博仁 (宮崎大2内、京都大付属病院探索医療センター)

TLR ligands の腸上皮細胞創傷治癒に及ぼす影響-第2報-

○飯塚政弘、金野志穂、堀江泰夫、進藤健一、佐藤亜紀子、佐々木健治、  
渡辺純夫 (秋田大1内)

腸管上皮細胞の分化制御による上皮修復治療への試み

渡辺 守、○岡本隆一、松本智子、川村央信、土屋輝一郎、中村哲也、  
金井隆典 (東京医科歯科大消化器内科)

#### (10) プロジェクト研究 (14:10~15:35)

外科的治療法の確立と工夫 責任者: 佐々木 巖・杉田 昭

Pouchitis 内視鏡アトラスを用いた新しい診断基準案の検討

佐々木 巖、舟山裕士、○福島浩平、柴田 近、高橋賢一、長尾宗紀、羽根田祥、  
渡辺和宏、工藤克昌、神山篤史 (東北大学生体調節外科)

Crohn 病に対する外科治療の現況調査”アンケート調査報告第2報”

佐々木 巖、○舟山裕士、福島浩平、柴田 近、高橋賢一、長尾宗紀、羽根田祥、  
渡辺和宏、工藤克昌、神山篤史 (東北大学生体調節外科)

クローン病に対する直腸切断術の適応と問題点

○小金井一隆 (横浜市大市民総合医療センター 難病医療センター)、木村英明、荒井勝彦、  
杉田昭、福島恒男 (横浜市立市民病院 外科)

潰瘍性大腸炎手術例の術後妊娠、出産例の集計 (プロジェクト研究)

○杉田 昭 (横浜市立市民病院外科)

クローン病術後経腸栄養療法の再発予防効果の検討-RCT project の進行状況-

○杉田 昭 (横浜市立市民病院外科)

クローン病術後吻合部再発に關与する因子の解析

○蘆田知史、河野 透、綾部時芳、前本篤男、岡本耕太郎、伊藤貴博 稲場勇平、  
森一健太郎、田邊浩貴、渡 二郎、斎藤裕輔 高後 裕 (旭川医大3内、同 2外)

クローン病に合併した直腸肛門部癌の検討

○藤井久男 (奈良医大中央内視鏡・超音波部)、小山文一、向川智英、西沼 亮、  
児島 祐、勝井錬太、内本和晃、大槻憲一、中島祥介 (奈良医大消化器・総合外科)

肺梗塞、脳梗塞を合併した潰瘍性大腸炎の手術

○飯合恒夫、谷 達夫、岡本春彦、畠山勝義 (新潟大消化器・一般外科)

IBD における surgical site infection の現状

亀岡信悟、○板橋道朗、小川真平、広澤治一郎、橋本拓造 (東京女子医大2外)

炎症性腸疾患に対する腹腔鏡手術の現況調査”アンケート調査第2報”

佐々木 巖、舟山裕士、福島浩平、柴田 近、○高橋賢一、長尾宗紀、羽根田祥、  
渡辺和宏、工藤克昌、神山篤史 (東北大学生体調節外科)

重症潰瘍性大腸炎に対する腹腔鏡手術の成績の検討

佐々木 巖、舟山裕士、福島浩平、柴田 近、高橋賢一、長尾宗紀、羽根田祥、  
○渡辺和宏、工藤克昌、神山篤史 (東北大学生体調節外科)

#### コーヒーブレイク (15:35~15:50)

#### (11) プロジェクト研究 (15:50~16:30)

癌化「サーベイランス法の確立」 責任者：松本誉之

潰瘍性大腸炎長期経過へのサーベイランスシステムの確立 狙撃生検を中心としたサーベイランスによる早期発見の可能性に関する研究

- 松本誉之、樋田信幸（兵庫医大消化器内科）、工藤進英（昭和大横浜北部病院）、春間 賢（川崎医大消化器内科）、名川弘一、渡邊聡明（東京大腫瘍外科）、岩男 泰（慶應大内科）、渡辺憲治、押谷伸英（大阪市大消化器内科）、五十嵐正広（北里大消化器内科）、味岡洋一（新潟大病態病理）

潰瘍性大腸炎長期経過例へのサーベイランスシステムの確立 効率的なサーベイランスを目指したプロジェクト研究（案）について

- 松本誉之、樋田信幸（兵庫医大消化器内科）、工藤進英（昭和大横浜北部病院）、春間 賢（川崎医大消化器内科）、名川弘一、渡邊聡明（東京大腫瘍外科）、岩男 泰（慶應大内科）、渡辺憲治、押谷伸英（大阪市大消化器内科）、五十嵐正広（北里大消化器内科）、味岡洋一（新潟大病態病理）

潰瘍性大腸炎に伴う Colitic cancer における抗 p53 抗体測定の有用性の検討

- 芳沢茂雄、井上 詠、高石官均、岡本 晋、久松理一、緒方晴彦、岩男 泰、日比紀文（慶應大内科）、藤田晴久、河上 裕（同 先端医科学研究所）

## (12) プロジェクト研究 (16:30~16:55)

癌化「基礎面から」 責任者：味岡洋一

潰瘍性大腸炎の dysplasia colitic cancer, 背景粘膜における胃幽門腺型粘液発現

- 須田和敬、味岡洋一、渡辺英伸（新潟大分子病態病理学）

Colitic Cancer 発症に関する研究-p53KO マウスを用いて-

- 藤井茂彦、千葉 勉（京都大消化器内科）、藤盛孝博（独協医大病理）

## 事務局連絡

懇親会 (17:00~)

平成16年7月30日(金)

## Ⅲ. 研究発表 (続)

### (13) プロジェクト研究 (9:00~10:30)

病態追究「病因解明に向けて」 責任者：千葉 勉

cytokine receptor  $\gamma$ -chain deficient mice ( $\gamma c^{-/-}$ ) における腸炎発症のメカニズムの解析

- 甲斐康之、根津理一郎（大阪労災病院外科）、水島恒和（泉佐野市立病院外科）、玉川浩司、松田宙、伊藤壽記（大阪大学臓器制御外科）

潰瘍性大腸炎-手術例から見たサイトメガロウィルス感染症-

- 池田圭祐、原岡誠司、岩下明德（福岡大筑紫病院病理部）、和田陽子、松井敏幸、八尾恒良（同 消化器科）

潰瘍性大腸炎患者の虫垂リンパ球サブセットの検討

- 松下光伸、岡崎和一（関西医大消化器内科）

自己抗体が認識する腸管上皮細胞由来 Galectin-4 による腸炎の病態形成機序

○外間 昭、金城福則、豊見山良作、与那嶺吉正、

砂川 隆 (琉球大光学医療診療部・第一内科)

Emiko Mizoguchi, Atsushi Mizoguchi (Harvard Medical School)

大腸筋線維芽細胞のCOX 発現について

○張 卓彬、稲富 理、出口靖之、辻川知之、安藤 朗、佐々木雅也、

藤山佳秀 (滋賀医大消化器内科)

SAMP1/Yit マウス回腸炎に対する抗接着分子抗体の腸炎抑制効果の検討

○三浦総一郎、都築義和、穂刈量太、松永久幸 (防衛大2内)

DSS 腸炎に対するサイクロスポリンの作用機序

○石黒 陽、棟方昭博、平賀寛人、櫻庭裕丈、山形和史、蝦名佐都子、

藤田 均 (弘前大1内)

制御性T細胞による病的粘膜内Memory T細胞制御機構

○谷本佳奈美、金井隆典、河村貴広、戸塚輝冶、渡辺 守 (東京医科歯科大消化器内科)

腸管炎症と一酸化炭素ガス

○内藤裕二、高木智久、坪井寿人、吉田憲正、吉川敏一 (京都府立医大消化器病態制御)

抗ECP抗体によるDSS腸炎の抑制

牧山和也 (長崎大光学医療診療部)、○七條和子、関根一郎 (同 原研病理)

#### (14) プロジェクト研究 (10:30~10:50)

「腸内細菌の関与」 責任者：藤山佳秀

腸管上皮内T細胞 (IEL) によるフローラの制御

○石川博通 (慶應大微生物学・免疫学)、木邊量子、辨野義巳 (理化学研究所系統保存)

#### (15) プロジェクト研究 (10:50~11:05)

医師主導の臨床試験の実施とその評価 責任者：高後 裕

臨床試験の現況について

○高後 裕、綾部時芳、蘆田知史 (旭川医大3内)

FK506 の潰瘍性大腸炎を対象とした後期第Ⅱ相臨床試験 (二重盲検群間比較試験)

日比紀文、○緒方晴彦 (慶應大消化器内科)

事務局連絡

閉会の挨拶

厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業  
「難治性炎症性腸管障害に関する調査研究」

平成16年度第2回総会プログラム

(敬称略)

平成17年1月26日(水)

開会(13:30)

I. 厚生労働省健康局疾病対策課挨拶 課長補佐：菊岡修一

II. 主任研究者挨拶・研究の進め方 主任研究者：日比紀文

III. 研究報告

(1) プロジェクト研究(13:50~14:05)

「データベースの拡充・活用」 責任者：名川弘一

「臨床調査個人票」

○名川弘一(東京大腫瘍外科)、武藤徹一郎(癌研究会附属病院)、  
日比紀文(慶應大消化器内科)

(2) プロジェクト研究(14:05~14:20)

「疫学的解析」 責任者：武林 亨

「難治性炎症性腸管障害の罹患、有病、予後に関する疫学研究」

○武林 亨、西脇祐司(慶應大衛生公衆衛生)、北洞哲治(国際医療福祉大熱海病院内科)、  
松岡克善、井上 詠、日比紀文(慶應大消化器内科)

(3) プロジェクト研究(14:20~14:55)

癌化「サーベイランス法の確立」 責任者：松本譽之

プロジェクト研究「潰瘍性大腸炎のサーベイランスとサーベイランスマニュアルの作成」

○松本譽之、樋田信幸(兵庫医科大)、工藤進英(昭和大学横浜市北部病院)、  
春間 賢(川崎医科大)、渡邊聡明、名川弘一(東京大腫瘍外科)、  
五十嵐正広(北里大東病院) 岩男 泰(慶應大)、渡辺憲治、押谷信英(大阪市大)、  
味岡洋一(新潟大)

潰瘍性大腸炎合併腫瘍における pit pattern 診断の意義：「大腸腫瘍性病変における腺口開口部の診断学的意義の解明に関する研究」班報告

○工藤進英、田中信治、佐野 寧、西倉 健、田村 智、鶴田 修、檜田博史、大塚和朗、  
竹内 司(昭和大横浜市北部病院消化器センター、広島大光学医療診療部、  
国立がんセンター東病院、新潟大、高知大、久留米大)

潰瘍性大腸炎における血清 histon 結合 p16 遺伝子検出による colitic cancer 血清診断の試み

○蘆田 知史、藤谷 幹浩、岡本 耕太郎、坂本 淳、渡 二郎、高後 裕  
(旭川医科大第3内科)

(4) プロジェクト研究 (14 : 55~15 : 20)

癌化「基礎面から」 責任者：味岡洋一

潰瘍性大腸炎の dysplasia, colitic cancer の2方向性胃分化と bottom-up morphogenesis

○味岡洋一、須田和敬、渡辺英伸 (新潟大分子・病態病理)

潰瘍性大腸炎および Colitic Cancer における REG I 蛋白発現の意義

○関川 昭、福井広一、千葉 勉 (京都大消化器内科)

(5) プロジェクト研究 (15 : 20~15 : 45)

「QOL の評価と改善」 責任者：櫻井俊弘

非活動期 Crohn 病患者の QOL

○櫻井俊弘 (町立芦屋中央病院)、関 剛彦、松井敏幸、八尾恒良  
(福岡大学筑紫病院消化器科)

潰瘍性大腸炎手術例の術後 QOL-SF36 を用いた回腸囊肛門吻合術と回腸囊肛門管吻合術の縦断研究

○杉田 昭 (横浜市民病院外科)、橋本秀樹 (帝京大衛生公衆衛生)、  
岩男 泰 (慶應大内科)、池内宏基 (兵庫医科大第2外科)、  
飯合恒夫 (新潟大消化器、一般外科)、板橋道朗 (東京女子医科大第2外科)

(6) プロジェクト研究 (15 : 45~16 : 50)

病態追究「病因解明に向けて」 責任者：千葉 勉

潰瘍性大腸炎患者の虫垂リンパ球サブセットの検討

岡崎和一、○松下光伸 (関西医科大第3内科 (消化器内科))

Germ Free マウス小腸粘膜におけるリンパ球 migration の検討

○都築義和、穂刈量太、竹林晃一、高本俊介、三浦総一郎 (防衛医科大第2内科)

腸間膜リンパ節樹状細胞による Crohn 病病態への関与

○佐藤俊朗、桜庭 篤、松岡克善、久松理一、岡本 晋、日比紀文 (慶應大消化器内科)

MIF トランジェニックマウスでは DSS 腸炎が増悪する

○武田宏司、大川原辰也、浅香正博 (北海道大消化器病態内科学、第3内科)

DSS 大腸炎の発症・進展とヘムオキシゲナーゼ

○高木智久、内藤裕二、吉川敏一 (京都府立医科大学 学生体機能制御学)

ベーチェット病 (BD) 患者末梢血単核球における Streptococcus sanguis の cell wall に対する反応性

○蝦名佐都子、石黒 陽、山形和史、櫻庭裕丈、藤田 均、平賀寛人、島谷孝司、  
棟方昭博、中根明夫 (弘前大第1内科、同 細菌学)

IL-10KO マウス腸炎に対する免疫抑制剤 Everolimus (RAD) の治療効果

○松田 宙、伊藤壽記、玉川浩司 (大阪大学大学院臓器制御外科)、甲斐康之、中島清一、  
根津理一郎 (大阪労災病院 外科)、水島恒和 (りんくう総合医療センター外科)

事務局連絡

懇親会 (17 : 00~)

平成17年1月27日(木)

### Ⅲ. 研究発表(続)

#### (7) プロジェクト研究(9:00~9:30)

内科的治療法の工夫と2004年度治療指針案

「潰瘍性大腸炎の難治例治療と緩解維持」 責任者:棟方昭博

潰瘍性大腸炎難治例の緩解維持療法に関する検討

○棟方昭博(弘前大第1内科)

内視鏡所見からみた潰瘍性大腸炎局所療法の評価

藤井久男、○西沼 亮、小山文一、向川智英、児島 祐、勝井錬太、大槻憲一、

中島祥介(奈良医大中央内視鏡・超音波部、同 消化器・総合外科)

サイトメガロウィルス感染を伴った潰瘍性大腸炎の治療と経過

○和田陽子、平井郁二、松井敏幸、八尾恒良(福岡大学筑紫病院消化器科)

#### (8) プロジェクト研究(9:30~9:55)

内科的治療法の工夫と2004年度治療指針案

「クローン病の内科治療」 責任者:飯田三雄

クローン病に対するインフリキシマブ反復投与の現状と効果:全国アンケート調査から

○飯田三雄(九州大病態機能内科学)

小児クローン病治療指針案

○友政 剛(パルこどもクリニック)、今野武津子(札幌厚生病院小児科)、

豊田 茂(神奈川県衛生看護専門学校附属病院小児科)、中里 豊(中里小児科)、

根津理一郎(大阪労災病院外科)、米沢俊一(もりおかこども病院小児科)、

三木和典(市立伊丹病院小児科)、金子浩章(群馬大小児生体防御学)、

小林昭夫(東京家政学院大学)

#### (9) プロジェクト研究(9:55~10:25)

「エビデンスに基づく炎症性腸疾患の診療ガイドライン開発と診療オプションの策定」

責任者:上野文昭

EBM手法と科学的コンセンサス形成法により統合された潰瘍性大腸炎の診療ガイドライン開発

##### 1. 専門家パネル会議とデルファイ法による評価

○尾藤誠司(国立病院東京医療センター臨床疫学部)、小林健二(東海大消化器内科)、

古宮憲一(国立病院東京医療センター消化器科)、井上 詠(慶大包括先進医療センター)、

五十嵐正広(北里大消化器内科)、伊藤裕章(大阪大分子病態内科学)、

正田良介(国立国際医療センター消化器科)、杉田 昭(横浜市民病院外科)、

野口善令(藤田保健衛生大一般内科)、樋渡信夫(いわき市立総合磐城共立病院)、

福島恒男(横浜市民病院)、松井敏幸(福岡大筑紫病院消化器科)、

松本譽之(兵庫医科大下部消化管科)、棟方昭博(弘前大第一内科)、

上野文昭(大船中央病院内科)

EBM手法と科学的コンセンサス形成法により統合された潰瘍性大腸炎の診療ガイドライン開発

##### 2. ステートメント作成と推奨レベルの設定

○小林健二(東海大消化器内科)、尾藤誠司(国立病院東京医療センター臨床疫学部)、

古宮憲一(国立病院東京医療センター消化器科)、井上 詠(慶大包括先進医療センター)、

五十嵐正広（北里大消化器内科）、伊藤裕章（大阪大分子病態内科学）、  
正田良介（国立国際医療センター消化器科）、杉田 昭（横浜市民病院外科）、  
野口善令（藤田保健衛生大一般内科）、樋渡信夫（いわき市立総合磐城共立病院）、  
福島恒男（横浜市民病院）、松井敏幸（福岡大筑紫病院消化器科）、  
松本譽之（兵庫医科大下部消化管科）、棟方昭博（弘前大第一内科）、  
上野文昭（大船中央病院内科）

(10) 再生分科会（10：25～10：50）

粘膜再生治療「基礎面から」 責任者：土肥多恵子  
炎症応答と消化管粘膜再生

○土肥多恵子（国立国際医療センター）、中島 淳（横浜市大第3内科）、  
小島 至（群馬大生体調節研究所）

ロタウイルス RNA の腸上皮細胞修復におよぼす影響

○飯塚政弘、佐藤亜紀子、進藤健一、相良志穂、伊藤博彰、堀江泰夫、渡辺純夫  
（秋田大第1内科）

(11) 再生分科会（10：50～11：30）

粘膜再生治療「臨床面から」 責任者：今井浩三  
骨髄間葉系幹細胞を用いた炎症性腸疾患の治療法の開発

○矢花 崇、後藤 啓、有村佳昭、今井浩三（札幌医大第1内科）

細胞の分化機構を利用した腸管上皮再生治療の試み

○岡本隆一、松本智子、川村央信、大島 茂、土屋輝一郎、中村哲也、金井隆典、渡辺 守  
（東京医科歯科大消化器内科）

実験大腸炎モデルにおける HGF の作用機序の解明

坪内博仁、○沼田政嗣、宇都浩文、安倍弘生、山本章二郎、宮田義史、井戸章雄  
（宮崎大第2内科、京都大探索医療センター）

実験的炎症性腸疾患モデルに対する HGF（肝細胞増殖因子）の効果と機序

○應田義雄、堀 和敏、樋田信幸、富田寿彦、小坂 正、福永 健、大西国夫、福田能啓、  
三輪洋人、松本譽之（兵庫医大下部消化管科・上部消化管科）

昼食・幹事会（11：30～13：00）

(12) 外科的治療法の確立と工夫（13：00～14：30）

責任者：佐々木 巖・杉田 昭

プロジェクト研究：「外科的治療法の確立と工夫」

Crohn 病に対する外科治療成績に関する多施設共同研究

佐々木巖、○舟山裕士、福島浩平、柴田 近、高橋賢一、長尾宗紀、羽根田祥、渡辺和宏、  
工藤克昌、神山篤史（東北大学生体調節外科）

炎症性腸疾患に対する腹腔鏡手術手技に関する共同研究

佐々木巖、舟山裕士、福島浩平、柴田 近、○高橋賢一、長尾宗紀、羽根田祥、渡辺和宏、  
工藤克昌、神山篤史（東北大学生体調節外科）

回腸囊肛門吻合に緊張がかからないための工夫

○飯合恒夫、谷 達夫、岡本春彦、畠山勝義（新潟大消化器・一般外科）



プロジェクト研究：「回腸囊炎の診断基準」

Pouchitis の管理と予防：班会議診断基準案の検討

佐々木巖、舟山裕士、○福島浩平、柴田 近、高橋賢一、長尾宗紀、羽根田祥、渡辺和宏、  
工藤克昌、神山篤史（東北大学生体調節外科）

プロジェクト研究：「潰瘍性大腸炎手術例の術後妊娠、出産の検討」

潰瘍性大腸炎手術例の術後妊娠、出産例の検討-アンケート集計-

○杉田昭（横浜市民病院外科）、佐々木巖（東北大学生体調節外科）

プロジェクト研究：「Crohn 病に合併した肛門病変の診断と治療」

Crohn 病肛門病変の診断と治療-アトラスの作成-

○二見喜太郎、東大二郎、有馬純孝（福岡大筑紫病院外科）

肛門症状先行クローン病症例の検討

○藤井久男（奈良医大中央内視鏡・超音波部）、小山文一、向川智英、西沼 亮、内本和晃、  
中島祥介（同消化器・総合外科）、吉川周作、稲次直樹（健生会奈良大腸肛門病センター）

Crohn 病痔瘻に対するレミケードの使用経験

○東大二郎、二見喜太郎、有馬純孝（福岡大筑紫病院外科）

プロジェクト研究：「Crohn 病術後経腸栄養の再発予防効果の検討」

クローン病術後経腸栄養療法の再発予防効果の検討-RCT の進行状況-

○杉田 昭（横浜市民病院外科）

プロジェクト研究：「Crohn 病に対する在宅中心静脈栄養に関する調査研究」

Crohn 病に対する在宅中心静脈栄養に関する調査研究

佐々木巖、舟山裕士、福島浩平、柴田 近、高橋賢一、○長尾宗紀、羽根田祥、渡辺和宏、  
工藤克昌、神山篤史（東北大学生体調節外科）

在宅中心静脈栄養を必要とするクローン病症例の検討

亀岡信悟、城谷典保、○板橋道朗、小川真平、曾我直弘、廣澤知一郎、橋本拓造、  
吉邑由佳（東京女子医科大学第二外科）、飯塚文瑛、白鳥敬子（同消化器内科）

(13) プロジェクト研究 (14:30~15:00)

「疾患関連遺伝子」 責任者：木内喜孝

HLA 領域遺伝子多型と日本人潰瘍性大腸炎との相関解析

○木内義孝、野村栄樹、根来健一、高木 承、高橋成一（東北大消化器病態学分野）

炎症性腸疾患における ATP 結合分子多型の相関（第3報）

○田村和朗（兵庫医大先端医学研究所家族性腫瘍部門）、高川哲也、武田直久、福田能啓、  
松本譽之（同 消化器内科）、池内浩基、山村武平（同 第2外科）

(14) プロジェクト研究 (15:00~15:25)

「腸内細菌の関与」 責任者：藤山佳秀

潰瘍性大腸炎患者由来 Bacteroides 株の組織培養細胞への付着性の検討

○岡村 登、佐藤賢哉、阿部博幸、千田俊雄

（東京医科歯科大保健衛生学研究科生体防御検査学）

(15) プロジェクト研究 (15:25~15:50)

医師主導の臨床試験の実施とその評価 責任者: 高後 裕

クローン病に対する抗菌薬治療 -多施設共同無作為化比較試験- について

○高後 裕 (旭川医科大第3内科)

クローン病における J-TREAT 調査研究について

○蘆田知史、高後 裕 (旭川医科大第3内科)、松本譽之 (兵庫医科大下部消化管科)、  
鈴木康夫 (東邦大佐倉病院内科)、伊藤裕章 (大阪大分子病態内科)、  
日比紀文 (慶應大学消化器内科)

栄養療法に抵抗性のクローン病におけるアダカラムの有効性と安全性-多施設共同研究-

○福田能啓、福永 健、松本譽之 (兵庫医科大内科・下部消化管科)、  
松井敏幸 (福岡大筑紫病院消化器内科)、鈴木康夫 (東邦大佐倉病院内科)、  
松本主之 (九大第2内科)、寺野 彰 (獨協医科大消化器内科)、  
今村哲理 (札幌厚生病院)、本間 照 (新潟大第3内科)、  
高添正和 (社会保険中央総合病院内科)、樋渡信夫 (いわき市立総合磐城共立病院)、  
澤田俊夫 (群馬県立がんセンター外科)、矢島知治 (北里研究所病院消化器科)、  
田中 伸 (国立病院東京医療センター消化器科)、花井洋行 (浜松医科大光学医療診療部)、  
野崎良一 (高野病院大腸肛門センター)、日比紀文 (慶應大消化器内科)

事務局連絡  
閉会の挨拶

厚生労働科学研究費補助金難治性疾患対策研究事業  
「難治性炎症性腸管障害に関する調査研究」班  
平成17年度第1回総会プログラム

(敬称略)

平成17年7月5日(火)

開会(9:00)

- I. 厚生労働省健康局疾病対策課挨拶 課長補佐：菊岡修一  
II. 主任研究者挨拶・研究の進め方 主任研究者：日比紀文  
III. 研究報告(9:20～9:40)

(1) プロジェクト研究

「データベースの拡充・活用」 責任者：名川弘一

IBD データベース—解析結果1—

○名川弘一(東京大腫瘍外科)、武藤徹一郎(癌研有明病院)、日比紀文(慶應大内科)

(2) プロジェクト研究(9:40～10:00)

「疫学的解析」 責任者：武林 亨

難治性炎症性腸管障害の罹患、有病、予後に関する疫学研究

○武林 亨、西脇祐司(慶應大衛生公衆衛生)、北洞哲治(国際医療福祉大熱海病院内科)、  
松岡克善、井上 詠、日比紀文(慶應大内科)

(3) プロジェクト研究(10:00～10:25)

「疾患関連遺伝子の追究」 責任者：木内喜孝

日本人炎症性腸疾患の候補遺伝子解析

○木内喜孝(東北大消化器病態学)、杉村一仁(新潟大3内)

炎症性腸疾患とTAP2 遺伝子

○田村和朗(兵庫医大先端医学研究所家族性腫瘍部門)、

高川哲也、福田能啓、松本譽之(同 内科下部消化管)、池内浩基、山村武平(同 2外)

(4) プロジェクト研究(10:25～10:45)

「腸内細菌の関与(病態、治療への応用)」 責任者：藤山佳秀

(5) プロジェクト研究(10:45～11:05)

「クローン病の内科治療」 責任者：飯田三雄

「クローン病患者のための緩解期栄養・食事指導マニュアル(案)」に基づくインターネット活用によるクローン病患者のための緩解期栄養・食事指導システムについて

日本栄養改善学会自由集会「クローン病の食事療法を考える会」

○吉田典代(北海道IBD食・食事療法研究会)、三岩富美恵(札幌厚生病院)、

○野口球子(北里大東病院)、齋藤恵子(社保中央総合病院)、藤原政嘉(大阪市大大学院)

(6) プロジェクト研究 (11:05~12:00)

内科的治療法の工夫と治療指針案

「潰瘍性大腸炎の難治例治療と緩解維持」 責任者:棟方昭博

潰瘍性大腸炎の局所療法についての検討

○棟方昭博 (弘前大1内)

活動期潰瘍性大腸炎の治療評価における各種活動指数の比較

○平井郁仁、松井敏幸 (福岡大筑紫病院消化器科)

難治性潰瘍性大腸炎に対するスクラルファート併用ベクロメタゾン注腸 (S-BDP) の検討

金城福則、○豊見山良作、外間 昭、岸本一人 (琉球大光学医療診療部)

当院におけるBDP注腸療法の現状

○茂木健太 (群馬県立がんセンター消化器内科)、鮫島伸一、澤田俊夫 (同 消化器外科)

潰瘍性大腸炎に対するRebamipide注腸の有効性と粘膜吸収動態

○牧山和也、大場一生 (長崎大光学医療診療部)、竹島史直 (同 総合診療科)

急性期潰瘍性大腸炎における白血球系細胞吸着除去療法が惹起するcell-modulationの意義

○福永 健、大西国夫、日下 剛、横山陽子、長瀬和子、應田義雄、樋田信幸、小坂 正、松本誉之 (兵庫医大下部消化管)

<昼食・幹事会>

(7) プロジェクト研究 (13:00~14:30)

「外科的治療法の確立と工夫」 責任者:佐々木 巖・杉田 昭

Crohn病外科治療成績の調査

佐々木 巖、○舟山裕士、福島浩平、柴田 近、高橋賢一、小川 仁、西條文人、長尾宗紀、羽根田 祥、渡辺和宏、工藤克昌、神山篤史 (東北大生体調節外科)

クローン病術後経腸栄養療法の再発予防効果の検討—RCTの進行状況—

○杉田 昭 (横浜市民病院外科)

pouchitis診断基準の作成

佐々木 巖、舟山裕士、○福島浩平、柴田 近、高橋賢一、小川 仁、西條文人、長尾宗紀、羽根田 祥、渡辺和宏、工藤克昌、神山篤史 (東北大生体調節外科)

硫化水素ガスの回腸嚢炎への関与

○大毛宏喜、竹末芳生、末田泰二郎 (広島大病態制御医科学外科)

クローン病肛門病変の報告

○二見喜太郎、東 大二郎、有馬純孝 (福岡大筑紫病院外科)

潰瘍性大腸炎、Crohn病に合併した小腸、大腸癌の特徴と予後の検討

○杉田 昭 (横浜市民病院外科)、佐々木 巖 (東北大生体調節外科)

Crohn病に対する在宅中心静脈栄養の現況調査

佐々木巖、○舟山裕士、福島浩平、柴田 近、高橋賢一、小川 仁、西條文人、長尾宗紀、羽根田 祥、渡辺和宏、工藤克昌、神山篤史 (東北大生体調節外科)

Crohn病の直腸肛門病変に対する直腸切断術の適応と効果

○小金井一隆 (横浜市大市民総合医療センター難病医療センター)、杉田 昭、木村英明、鬼頭文彦、福島恒男 (横浜市民病院外科)

潰瘍性大腸炎に対する腹腔鏡補助下手術の検討—標準化に向けて

○藤井久男 (奈良医大中央内視鏡超音波部)、小山文一、向川智英、児島 祐、内本和晃、大槻憲一、中島祥介 (同 消化器総合外科)

UC に対する標準術式としての Hand-assist 腹腔鏡補助下大腸全摘術

○中島清一、伊藤壽記 (大阪労災病院、大阪大生体機能補完医学)、根津理一郎、甲斐康之、玉川浩司 (大阪大外科)、水島桓和 (りんくう総合医療センター外科)

血球成分除去療法が手術適応および周術期合併症に与える影響

山村武平、○池内浩基、中埜廣樹、内野 基、中村光宏、柳生利彦、野田雅史、柳 秀憲 (兵庫医科大学2外)、福田能啓、松本譽之 (同 下部消化管)

高齢者潰瘍性大腸炎に対する外科治療と問題点

○木村英明、杉田 昭、鬼頭文彦、福島恒男 (横浜市民病院外科)、小金井一隆 (横浜市大市民総合医療センター難病医療センター)

当科で手術した colitic cancer の検討

○清水大喜、飯合恒夫、谷 達夫、岡本春彦、畠山勝義 (新潟大消化器一般外科)

#### (8) プロジェクト研究 (14:30~14:50)

「QOL の評価と改善」 責任者：櫻井俊弘・岩男 泰

外来 Crohn 病患者の QOL

○櫻井俊弘 (町立芦屋中央病院)、関 剛彦、松井敏幸 (福岡大筑紫病院消化器科)

潰瘍性大腸炎手術例の術後 QOL の検討

—SF36 を用いた回腸囊肛門吻合術と回腸囊肛門管吻合術の縦断研究—

○杉田 昭 (横浜市民病院外科)、橋本秀樹 (帝京大衛生公衆衛生)、岩男 泰 (慶應大内科)、池内浩基 (兵庫医大2外)、飯合恒夫 (新潟大消化器一般外科)、板橋道朗 (東京女子医大2外)

#### <コーヒーブレイク>

#### (9) プロジェクト研究 (15:00~15:30)

「エビデンスに基づく炎症性腸疾患の診療ガイドライン開発と診療オプションの策定」

責任者：上野文昭

エビデンスとコンセンサスを統合した潰瘍性大腸炎の診療ガイドラインの開発状況

○上野文昭 (大船中央病院)、尾藤誠司 (独立行政法人国立病院機構本部)、井上 詠 (慶應大内科)、小林健二 (東海大消化器内科)、五十嵐正広 (北里大消化器内科)、古宮憲一 (国立病院東京医療センター消化器科)、伊藤裕章 (大阪大消化器内科)、正田良介 (国立国際医療センター消化器科)、杉田 昭 (横浜市民病院外科)、野口善令 (藤田保健衛生大一般内科)、樋渡信夫 (いわき市立総合磐城共立病院)、福島恒男 (横浜市立脳血管医療センター)、松井敏幸 (福岡大筑紫病院消化器科)、松本譽之 (兵庫医大下部消化管科)、棟方昭博 (弘前大1内)

潰瘍性大腸炎の診療ガイドライン：推奨度の設定基準

○小林健二 (東海大消化器内科)、尾藤誠司 (独立行政法人国立病院機構本部)、井上 詠 (慶應大内科)、古宮憲一 (国立病院東京医療センター消化器科)、上野文昭 (大船中央病院)

## クローン病の診療ガイドライン開発計画の概要

○尾藤誠司（独立行政法人国立病院機構本部）、井上 詠（慶應大内科）、  
小林健二（東海大消化器内科）、古宮憲一（国立東京医療センター消化器科）、  
上野文昭（大船中央病院）

### (10) 再生分科会（15:30～15:50）

粘膜治療法「基礎面から」 責任者：土肥多恵子  
炎症応答と消化管粘膜再生

○土肥多恵子（国立国際医療センター研究所）、中島 淳（横浜市大3内）、  
小島 至（群馬大生体調節研究所）

### (11) 再生分科会（15:50～16:20）

粘膜治療法「臨床面から」 責任者：今井浩三  
腸管上皮炎症および再生における adiponectin の役割

○上野敦盛、有村佳昭、後藤 啓、中原生哉、矢花 崇、篠村恭久、今井浩三（札幌医大1内）  
腸上皮細胞修復に及ぼすエカベトナトリウムの効果

○飯塚政弘、佐々木健治、進藤健一、相良志穂、伊藤博彰、堀江泰夫、  
渡辺純夫（秋田大1内）

腸管上皮の分化制御による再生治療への試み

○岡本隆一、松本智子、大島 茂、土屋輝一郎、金井隆典、渡辺 守（東京医歯大消化器内科）

## 事務局連絡

## 懇親会

平成17年7月6日（水）

## Ⅲ. 研究報告（続）

### (12) プロジェクト研究（9:00～10:40）

病態追究「病因解明に向けて」 責任者：千葉 勉  
ラット腸管に生後発達分化するリンパ組織について

○浜田裕公、石川博通（慶應大学微生物学免疫学教室）、一松収、日比紀文（同 内科）  
マイクロアレイ解析とプロテオーム解析を用いた炎症性腸疾患の病態解明と治療への応用

○沼田政嗣（宮崎大2内）、安倍弘生、上村修司、児玉眞由美、宇都浩文、  
井戸章雄（京都大探索医療センター）、  
坪内博仁（鹿児島大消化器疾患生活習慣病学、京都大探索医療センター）

潰瘍性大腸炎における虫垂粘膜リンパ球サブセット・サイトカインプロファイルの解析

○松下光伸、高鍬 博、岡崎和一（関西医大消化器内科）

IL-10 ノックアウトマウスにおける抑制性マクロファージの分化異常と IL-12 過剰産生

○久松理一、鎌田信彦、岡本 晋、日比紀文（慶應大内科）、赤川清子（国立感染症研究所）  
潰瘍性大腸炎の腸管粘膜固有層単核球における多剤耐性遺伝子（MDR）の発現

○櫻庭裕丈、石黒 陽、山形和史、平賀寛人、蝦名佐都子、島谷孝司、藤田 均、  
棟方昭博（弘前大1内）

ラット大腸炎モデルにおける他臓器でのNO代謝

佐々木 巖、舟山裕士、福島浩平、柴田 近、高橋賢一、小川 仁、○西條文人、  
長尾宗紀、羽根田 祥、渡辺和宏、工藤克昌、神山篤史（東北大生体調節外科）、  
Feelish M (Whitaker Cardiovascular Institute, Boston University)

実験腸炎におけるHeme oxygenase誘導による病変阻止効果

○高木智久、半田 修、古倉 聡、(京都府立医大生体安全医学)、  
内藤裕二(同 生体機能分析医学)、坪井寿人、梶川洋和、赤桐里美、市川 寛  
(同 生体機能制御学)、吉田憲正(同 消化器病態制御学)、  
吉川敏一(同 生体安全医学、生体機能分析医学、生体機能制御学)

潰瘍性大腸炎癌化危険因子としてのestrogen receptorのメチル化

○藤井茂彦、千葉 勉(京都大消化器内科)、藤盛孝博(独協医大病理)

慢性大腸炎と免疫記憶細胞とIL-7の重要な関連性

○金井隆典、渡辺 守(東京医歯大消化器内科)

Germ freeおよびSPF環境下小腸粘膜微小血管でのTリンパ球migrationにおける  
MAdCAM-1およびVCAM-1の役割(紙上発表)

都築義和、○穂苅量太、竹林晃一、高本俊介、三浦総一郎(防衛医科大2内)

## <コーヒーブレイク>

### (13) プロジェクト研究 (10:40~11:00)

癌化「サーベイランス法の確立」 責任者：松本誉之

狙撃生検を用いたサーベイランスシステムの構築—サーベイランスアトラスの作成—

○松本誉之、樋田信幸、應田義雄(兵庫医大下部消化管科)、  
工藤進英、大塚和朗(昭和大横浜北部病院)、渡邊聡明、名川弘一(東京大腫瘍外科)、  
岩男 泰、松岡克善(慶應大内科)、五十嵐正広(癌研有明病院内視鏡診療部)、  
佐田美和、小林清典、勝又伴栄(北里大消化器内科)、  
渡辺憲治、押谷伸英(大阪市大消化器器官制御内科学)、春間 賢(川崎医大消化器科)、  
千葉俊美(岩手医大第1内科)、飯塚文瑛(東京女子医大消化器内科)、味岡洋一(新潟大病理)

### (14) プロジェクト研究 (11:00~11:20)

癌化「基礎面から」 責任者：味岡洋一

### (15) プロジェクト研究 (11:20~11:40)

「医師主導の臨床試験の実施とその評価」 責任者：高後 裕

臨床試験プロジェクトの現況について

○高後 裕(旭川医大3内)

事務局連絡

閉会挨拶

厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業  
「難治性炎症性腸管障害に関する調査研究」班  
平成17年度第2回総会プログラム

(敬称略)

平成18年2月16日(木)

開会(9:00)

- I. 厚生労働省健康局疾病対策課挨拶 係長: 牧野友彦  
II. 主任研究者挨拶・研究の進め方 主任研究者: 日比紀文  
III. 研究報告(9:20~9:40)

(1) プロジェクト研究

「データベースの拡充・活用」 責任者: 名川弘一

IBD データベース—解析結果2—

○名川弘一(東京大腫瘍外科)、武藤徹一郎(癌研有明病院)、日比紀文(慶應義塾大内科)

(2) プロジェクト研究(9:40~10:00)

「疫学的解析」 責任者: 武林 亨

難治性炎症性腸管障害の罹患、有病、予後に関する疫学研究

○西脇祐司、武林 亨(慶應義塾大衛生公衆衛生)、北洞哲治(国際医療福祉大熱海病院内科)、  
松岡克善、井上 詠、日比紀文(同 消化器内科)

(3) プロジェクト研究(10:00~10:40)

内科的治療法の工夫と2006年治療指針案

「潰瘍性大腸炎の難治例治療と緩解維持」 責任者: 棟方昭博

潰瘍性大腸炎の局所療法についての検討

○棟方昭博(弘前大内1)

潰瘍性大腸炎に対する白血球除去療法の効果発現に関する研究

○福永 健、横山陽子、大西国夫、神野良男、樋田信幸、應田義男、富田寿彦、堀 和敏、  
小阪 正、長瀬和子、福田能啓、松本誉之(兵庫医大下部消化管)

潰瘍性大腸炎患者における血清IP-10値測定とGCAP治療による変動

○野口篤志、渡辺憲治、鎌田紀子、稲川 誠、山上博一、押谷伸英、荒川哲男  
(大阪市大消化器器官制御内科)

(4) プロジェクト研究(10:40~11:00)

内科的治療法の工夫と2006年治療指針案

「クローン病の内科治療」 責任者: 飯田三雄

Crohn病の緩解維持に対するazathioprineの有効性と安全性

○村上右児、平井郁仁、松井敏幸(福岡大筑紫病院消化器科)



(5) プロジェクト研究 (11:00~11:15)

炎症性腸疾患内視鏡アトラスの作成 責任者：日比紀文・岩男 泰

炎症性腸疾患内視鏡アトラスの作成について

- 井上 詠、緒方晴彦、岩男 泰、日比紀文 (慶應義塾大消化器内科)、
- 松井敏幸 (福岡大筑紫病院消化器科)、田中信治 (広島大光学医療診療部)、
- 飯塚文瑛 (東京女子医大消化器内科)、斉藤祐輔 (市立旭川病院消化器内科)、
- 押谷伸英 (大阪市大消化器器官制御内科学)、小林清典 (北里大消化器内科)

(6) プロジェクト研究 (11:15~11:40)

「疾患関連遺伝子の追究」 責任者：木内喜孝

遺伝子多型を用いた炎症性腸疾患感受性遺伝子の検討

- 木内喜孝、角田洋一、高橋成一、高木 承、根来健一、野村栄樹、下瀬川 徹 (東北大消化器病態)、
- 杉村一仁 (新潟大消化器内科)

炎症性腸疾患と IL-18 遺伝子多型

- 田村和朗 (兵庫医大先端医学研究所家族性腫瘍)、
- 高川哲也、福田能啓、松本誉之 (同 下部消化管)、池内浩基、山村武平 (同 2 外)

(7) プロジェクト研究 (11:40~12:00)

「腸内細菌の関与 (病態、治療への応用)」 責任者：藤山佳秀

<昼食・幹事会>

(8) プロジェクト研究 (13:00~14:30)

「外科的治療法の確立と工夫」 責任者：佐々木 巖・杉田 昭

<プロジェクト研究>

pouchitis 診断基準作成に関する調査 (中間報告)

- 福島浩平、佐々木 巖、舟山裕士、柴田 近、高橋賢一、小川 仁、羽根田 祥、渡辺和宏、
- 工藤克昌、神山篤史、林 啓一 (東北大生体調節外科)

Crohn 病肛門病変の検討と治療

- 二見喜太郎、東 大二郎、有馬純孝 (福岡筑紫病院外科)

Crohn 病に対する在宅中心静脈栄養の現況調査 (第一報)

- 工藤克昌、佐々木 巖、舟山裕士、福島浩平、柴田 近、高橋賢一、小川 仁、羽根田 祥、
- 渡辺和宏、神山篤史、林 啓一 (東北大生体調節外科)

Crohn 病外科治療成績に関する多施設共同研究 (第一報)

- 舟山裕士、佐々木 巖、福島浩平、柴田 近、高橋賢一、小川 仁、羽根田 祥、渡辺和宏、
- 工藤克昌、神山篤史、林 啓一 (東北大生体調節外科)

クローン病術後経腸栄養療法の再発予防効果の検討-RCT の進行状況-

- 杉田 昭 (横浜市民病院外科)

潰瘍性大腸炎、Crohn 病に合併した小腸、大腸癌の特徴と予後の検討

- 杉田 昭、木村英明 (横浜市民病院外科)、佐々木 巖 (東北大生体調節外科)、

小金井一隆（横浜市大市民総合医療センター）、福島恒男（横浜市立脳血管医療センター）

### <各個研究>

粘膜切除部の dysplasia 及び colitic cancer の合併頻度について

山村武平、○池内浩基、中埜廣樹、内野 基、中村光宏、野田雅史、柳 秀憲（兵庫医大2外）  
潰瘍性大腸炎手術における術野感染症（SSI）とベストプラクティスの効果

亀岡信悟、○板橋道朗、小川真平、廣澤知一郎、山田暁輝、番場嘉子（東京女子医大2外）  
瘍性大腸炎に対する腹腔鏡補助下手術の pitfall –安全に行うために

藤井久男（奈良医大中央内視鏡超音波部）、○小山文一、向川智英、中川 正、児島 祐、  
内本和晃、大槻憲一、中村信治、中島祥介（同 消化器・総合外科）

IACA 術後 pouch 関連合併症に対する経肛門的 salvage 手術

○中島清一、根津理一郎（大阪労災病院外科）、甲斐康之、安政啓吾、西田俊朗（大阪大外科）、  
伊藤壽記（大阪大生体機能補完医学）

IACA か IAA か？ 潰瘍性大腸炎における AHP を用いた意思決定モデルの検討

○吉岡和彦、岡崎 智、岩本慈能、中野雅貴、中根恭司（関西医大外科）

クローン病に対する腹腔鏡手術の意義

○小澤平太、國場幸均、渡邊昌彦（北里大外科）

高齢者 Crohn 病に対する外科治療の効果

○木村英明、杉田 昭、鬼頭文彦（横浜市民病院外科）、  
小金井一隆（横浜市大市民総合医療センター難病医療センター）、  
福島恒男（横浜市立脳血管医療センター）

### <コーヒーブレイク>

#### (9) 再生分科会（14:40～15:10）

粘膜再生治療「基礎面から」 責任者：土肥多恵子

炎症応答と消化管粘膜再生

○土肥多恵子（国立国際医療センター研究所消化器疾患研究部）、中島 淳（横浜市大3内）、  
小島 至（群馬大生体調節研究所）、片岡寛章（宮崎大2病理）

Wnt 活性化腸管上皮細胞の網羅的遺伝子解析

○佐藤俊朗、日比紀文（慶応義塾大内科）松崎有未、岡野栄之（同 生理学）、

#### (10) 再生分科会（15:10～15:50）

粘膜再生治療「臨床面から」 責任者：今井浩三

炎症性腸疾患患者のプロテオーム解析と実験大腸炎モデルに対する HGF の作用機序解析

坪内博仁（鹿児島大消化器疾患・生活習慣病学）、○沼田政嗣、宇都浩文、上村修司、安倍弘生、  
児玉眞由美（宮崎大2内）、井戸章雄（京都大付属病院探索医療センター）

DSS 腸炎における骨髄間葉系幹細胞治療

○矢花 崇、有村佳昭、田中道寛、中原生哉、後藤 啓、篠村恭久、今井浩三（札幌医大1内）

上皮分化制御による腸管粘膜再生の試み

○岡本隆一、土屋輝一郎、金井隆典、渡辺 守（東京医科歯科大消化器内科）

(11) プロジェクト研究 (15:50~16:20)

癌化「サーベイランス法の確立」 責任者：松本誉之

潰瘍性大腸炎のサーベイランスアトラス作成

松本誉之、○樋田信幸 (兵庫医大下部消化管)、春間 賢 (川崎医大消化器Ⅱ)、  
工藤進英、大塚和朗 (昭和大横浜北部病院消化器センター)、  
渡邊聡明、名川弘一 (東京大腫瘍外科)、五十嵐正弘 (癌研有明病院内視鏡診療部)、  
佐田美和 (北里大消化器内科)、飯塚文瑛 (東京女子医大消化器病センター)、  
千葉俊美 (岩手医大1内)、岩男 泰 (慶応義塾大消化器内科)、  
渡辺憲治 (大阪市大消化器器官制御学)、味岡洋一 (新潟大分子診断病理)

Colitic cancer dysplasia の内視鏡拡大所見

○工藤進英、浜谷茂治、大塚和朗 (昭和大横浜北部病院消化器センター)、  
佐田美和 (北里大消化器内科)、平田一郎 (大阪医大2内)、松本誉之 (兵庫医大下部消化管)、  
岩男 泰 (慶応義塾大消化器内科)、渡辺聡明 (東京大腫瘍外科)、  
渡辺憲治 (大市大消化器器官制御内科)、五十嵐正弘 (癌研有明病院内視鏡部)

(12) プロジェクト研究 (16:20~16:40)

癌化「基礎面から」 責任者：味岡洋一

事務局連絡

懇親会

平成18年2月17日 (金)

Ⅲ. 研究報告 (続)

(13) プロジェクト研究 (9:00~9:40)

「エビデンスに基づく炎症性腸疾患の診療ガイドライン開発と診療オプションの策定」

責任者：上野文昭

潰瘍性大腸炎の診療ガイドライン：特徴と使用上の注意点

○上野文昭 (大船中央病院)、尾藤誠司 (国立病院機構医療部臨床研究推進室)、  
井上 詠 (慶応義塾大内科)、小林健二 (東海大総合内科)、  
古宮憲一 (国立病院東京医療センター消化器科)、五十嵐正広 (癌研有明病院内視鏡部)、  
伊藤裕章 (北野病院消化器内科・炎症性腸疾患センター)、  
正田良介 (国立国際医療センター消化器科)、杉田 昭 (横浜市民病院外科)、  
野口善令 (名古屋第二赤十字病院総合内科)、樋渡信夫 (いわき市立総合磐城共立病院)、  
福島恒男 (横浜市立脳血管医療センター)、松井敏幸 (福岡大筑紫病院消化器科)、  
松本誉之 (兵庫医大下部消化管科)、棟方昭博 (弘前大1内)

クローン病の診療ガイドライン開発計画：エビデンスの収集・吟味と評価用ステートメントの作成

○井上 詠 (慶応義塾大消化器内科)、上野文昭 (大船中央病院)、  
尾藤誠司 (国立病院機構医療部臨床研究推進室)、野口善令 (名古屋第二赤十字病院総合内科)、  
小林健二 (東海大総合内科)、伊藤裕章 (北野病院消化器内科・炎症性腸疾患センター)

中山建夫 (京都大健康情報学分野)

(14) プロジェクト研究 (9:40~11:20)

病態追究「病因解明に向けて」 責任者: 千葉 勉

潰瘍性大腸炎における PCR 法を用いた CMV 感染合併の診断の有用性

○仲瀬裕志、千葉 勉 (京都大消化器内科)

潰瘍性大腸炎腸管局所における Thrombospondin-1 (TSP-1) の発現

○島谷孝司、石黒 陽、山形和史、櫻庭裕丈、平賀寛人、山口佐都子、藤田 均、棟方昭博 (弘前大内1)

潰瘍性大腸炎患者における血漿 Osteopontin 値の検討

牧山和也、大場一生 (長崎大工学医療診療部)、○三島亮介、大仁田 賢、水田陽平、河野 茂 (同 2内)、竹島史直 (同 総合診療科)

潰瘍性大腸炎におけるリポカリン型プロスタグランジン D 合成酵素発現

高木俊介、渡辺千佳子、○穂刈量太、三浦総一郎 (防衛医大2内)

Heme oxygenase-Carbon monoxide System を標的とした新規治療法の実験的検討

○高木智久、内藤裕二、鈴木隆裕、坪井寿人、梶川洋和、半田 修、古倉 聡、市川 寛、吉田憲正、吉川敏一 (京都府医大1内)

炎症性腸疾患における fractalkine/CX3CR1 の役割

○小林 拓 (慶應義塾大消化器内科、名古屋大病態修復内科)、後藤秀実 (名古屋大病態修復内科)、岡本 晋、日比紀文 (慶應義塾大消化器内科)

潰瘍性大腸炎患者虫垂炎粘膜におけるサイトカインプロファイルの検討

○松下光伸、岡崎和一、内田一茂 (関西医大3内)

慢性大腸炎惹起性メモリーT細胞維持における骨髄の役割

○根本泰宏、金井隆典、蒔田 新、戸塚輝治、渡辺 守 (東京医歯大消化器内科)

(15) プロジェクト研究 (11:20~11:40)

「医師主導の臨床試験の実施とその評価」 責任者: 高後 裕

事務局連絡

閉会挨拶